



上：ホームページ担当の同校事務員谷口康則さんが毎日更新しています。
下：全校集会でJ-KIDS県事務局代行より表彰状を受け取る畑下校長

全国大会へ向けてGO！ 王子小学校ホームページが和歌山県代表に

このほど、王子小学校が日本最大の小学校ホームページコンテスト「J-KIDS大賞2009」の和歌山県代表に選ばれ、9月7日、同校で表彰状贈呈式が行われました。同コンテストは全国のホームページを有する18,951校の中から代表52校を1,000人のボランティアの投票により選出したものです。11月上旬には全国大会最終選考結果が発表されます。

同校の選考理由は「『校長室つうしん』から、校長の考えや日々の学校生活が伝わる」「『見守りボランティアブログ』で、学校と保護者・地域が協力し子どもたちを守り育てている様子が分かる」「情報が探しやすくバランスの取れたホームページである」とのことです。

自ら「校長室つうしん」を更新している畑下校長は「ホームページが認められたことは大変ありがたいことです。このことが王子小学校の生徒の自信につながるものと思います」と笑顔で表彰状を受け取りました。

僕たちが待っているカモね 川舟下りの人気者"アイガモ"

8月中旬から熊野川にアイガモの夫婦（成鳥2羽）がお目見え。川舟船頭や乗船客に愛嬌を振りまっています。

アイガモに出会えるのは熊野川屋嶋付近の川面で、川舟の乗船場である熊野川町田長から川を約40分程度下ったところ。アイガモ夫婦は川舟が通るたびに近寄ってきて、船頭からパンやせんべいをもらっています。もともとは害虫や除草を目的としたアイガモ農法のため、浅里地区の水田に放たれていたものだそうです。

川舟船頭の打越保さんは「人懐こくて乗船客に大変喜んでもらっています。かわいいですね」と子どもを見るように目を細めていました。

川舟下りの隠れた人気スポットになるかも。



「はやくちょうだい！」と人懐こいアイガモ：屋嶋で

1人でも多くの方が受講してください 町内会長連絡協議会救命講習会

8月25日、市町内会長連絡協議会主催の救命講習会が福祉センターで行われ、市消防本部職員指導のもと24人が心肺蘇生法やAED（自動体外式除細動器）の操作方法を学びました。

職員は「昨年、交通事故での死亡者は約6,000人ですが、一方心臓が止まって亡くなった人は3~5万人います。心臓が停止した人に遭遇する確率は意外に高いため、ぜひ、心肺蘇生法を覚えてほしい」と語りました。

心肺蘇生法を記した紙をいつも持っているという上中章嘉さん（三輪崎）は「何回か講習を受けています。頭の中では理解しているつもりでも、実際にやってみると慌ててしまいます。いつこのような場面に遭遇するかわかりません。何度でも講習は受けた方がいいですね」と、真剣に蘇生法を学んでいました。



いつ、心臓マッサージを行う場面に遭遇するかもしれません。